

(理事会・評議員会共通)

平成27年度 事業報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

■ 事業活動

〈電話相談「認知症110番」事業〉

毎日新聞社と共催し1992年にスタートした本財団の主要事業の一つで、4月末に累計で2万3084件に達しました。過去24年の平均は年900件ですが、2010年以降は1400～1500件で推移しました。デジタル入力に切り替えたため、操作に不慣れな間は電話に出ることよりも入力優先を心掛けた14、15年はそれぞれ1250件、1154件で平均を上回りました。学校法人順天堂と提携して2010年7月から再スタートした医師による「認知症相談室」も好評です。

〈シンポジウム事業〉

財団創設時からのスポンサーであるアフラックからの支援が無くなり、それに代わる新たなスポンサー獲得の見通しが立たないため、平成27年度は開催を見送りました。平成28年度は引き続き新しいスポンサーを探しますが、シンポジウムは財団のメイン事業の一つでもあり、厳しい懐事情の中、何とか開催にこぎつけるよう努力します。また開催の場合も「映画や漫画の中に描かれる認知症」「情操教育としての認知症」など新しい視点からのシンポジウムを心掛けていきます。

〈調査・研究事業〉

電話相談記録票のデジタル化事業と調査研究事業にまたがる関連企画として平成25年度からスタートさせた相談記録票のデータベース化事業を受けて、平成27年度は調査報告書と認知症入門ハンドブックのシリーズ3、4をそれぞれ刊行しました。ハンドブックの2冊同時刊行は初めてで、各2600部はけ、シリーズ1からの累計では1万部を超えました。自社の販促グッズとしてロゴを入れ替えた冊子を作れないかという問い合わせも複数件来ており、ここから何とか収益を挙げるビジネスモデルを検討中です。

〈財団報「新時代」の発行〉

平成27年度は91～96号の計6回発行。創刊1号からの人気コラム「認知症110番」（是枝祥子大妻女子大名誉教授）は10月号がちょうど100回。毎日新聞の医療サイトや朝日生命の「介護あんしんサポート」にも転載され、財団の活動への信頼感向上に貢献しています。

■ 内部運営

会議 平成27年度に実施した主な会議は以下の通りです。

理事会・評議員会

理事会は平成27年5月29日、評議員会は6月26日開催。平成26年度決算が承認されました。また今年3月16日の理事会では平成28年度の事業計画と予算案が承認されました。